

2019年度 女性審判講習会レポート

所 属	大阪 府	連 盟	社会人	資 格	B 級
氏 名	花谷 槇子				
参加日 ※○してください	9日(金)		10日(土)		11日(日)
講義・映像研修についての感想・要望					
今話題になっている、女性分科会のことについては、大阪でも意見の吸上げがあり、その後どのようなようになっているのかわからない部分でもあったので、サマーキャンプの際の情報をいただけたのは、非常にありがたかったです。またこのような女性審判講習会ということで、いろんな立場の女性が集まり、それぞれの環境での悩みや話ができただけでは良かったです。映像を用いた研修については、同じ映像を見ていても着眼点が違ったりして面白い部分であると思いました。少人数のグループに別れて、そこで意見を出し合えるようにした方が、よりコミュニケーションが取れたのではないかと思います。近年映像を用いた反省会や自己分析が増える中で、間違えた映像分解をしてしまっているケースも多々見受けられるので、正しい映像分析の仕方としても非常にわかりやすかったです。					
講習会全体についての感想・要望					
有澤さんのおっしゃった「交流」を目的とした講習会。非常に中身の濃い、有意義な3日間になりました。わたし自身、初日のような練習ゲームを用いたレフリーウェアを着ない状態でのレフリーというのも初めてだったので、少し戸惑いもありましたが、短い時間で、さらにいろんなメンバーと吹くことでもまた様々な発見がありました。吹くたびに講師の方からのアドバイスをいただけて、まだ経験の浅い方には特に良い練習になったかと思いました。最終日のプレゲームカンファレンスを受けることができなかったのですが、1番最初に大まかな3POのメカニクスを話した上で、コートで練習をすればよりよかったかとも感じました。プレゲームカンファレンスのプレ公開を聞けなかったのが非常に残念でしたので、もし可能であれば映像を撮るか、第二弾を行なっていただけると、すべて受講できるのでありがたかったです。(わがままばかりすみません。)					
自身の審判について自評・講評					
全国どこに行っても、高校生、大学生、社会人、カテゴリー問わず、どのような大会でも同じようにCCであろうとU1であろうとU2であろうと、同じように準備し、取り組むこと。審査会だから、ではなく目の前の選手のために、レフリーをする。それがコートにも良い形で表現できたのではないかと思います。評価を求めたり、恐れちゃっていた時期もありましたが、全ては選手のため、より良いゲーム運営を目指して、クルーと協力し、コミュニケーションを取り、自身の判定を積み重ねていけたのではないかと感じています。					
今後の目標					
初めて中国ブロックの女性審判講習会に参加させていただきました。個人的な目標はトップレフリーになること。上級審判員になり、全国各地を駆け巡ることです。が、今回の女性審判講習会で、山口県の女性審判の多さ、若さ、パワーに圧倒されました。大阪にはそれだけの女性審判もおらず、普及がまだまだだと感じました。個人的には有澤優子さんの力、存在の大きさをとても感じた講習会でした。同じ県内で、ご結婚、ご出産もされた中で、上級審判員として、ご活躍され非常にアクティブに活動されている方がいらっしゃるのとはとても大きなことだと思いました。わたし自身まだまだですが、自分のことだけでなく、大阪府の女性レフリーの育成、普及にも何かできれば。と思えた講習会でした。ありがとうございました。					

2019年度 女性審判講習会レポート

所 属	大阪 府	連 盟	高体連	資 格	B 級
氏 名	森照代				
参加日 ※Oしてください	9日(金)	10日(土)	11日(日)		
講義・映像研修についての感想・要望					
今回は2日目から参加させていただきました。10日(土)の講義「3POベーシックメカ」については、たくさんの映像を用いて、わかりやすく丁寧に説明していただき、とても勉強になりました。その中でも、「アクティブリード」というキーワードがとても印象に残っています。私自身も、リードのエリアだけど、センターの方がアングルがいいと思ったときには、コールしていないケースもありましたが、この講習を聞いて、もっとアクティブにリードが参加する意識が出ました。今後の審判活動に活かしたいと思います。					
講習会全体についての感想・要望					
今回、初めて中国ブロック女性審判講習会に参加させていただきましたが、一番刺激的だったのが、この女性講習会と同時並行で、A級審査が行われていて、近畿以外のA級審査を受けられている方々の活動や実際の審判の取り組みを見たり聞いたり出来たことが、私にとっては、一番でした。審査を受ける方々の取り組みを見て、私に足りないものや、私の取り組みが不十分な所などがわかりとても勉強になりました。また、はじめてお話しする方々ばかりの中で、コミュニケーション力をつけるいい機会にもなりました。今後も是非参加したいと思いました。					
自身の審判について自評・講評					
足元の弱さとCの時の首の動かし方を指摘して頂きました。ゼロステップがあるけれど、従来どおりのトラベリングを判定し切れていない。足元に意識が不十分なのが原因だと自分では思いました。あとはCの時に色んな所のプレーを見に行こうとしてしまい。首が動きすぎていたと思います。首を動かすのではなく、ポジションアジャストして、よりいいアングルでプレーを見れるようにしていきたいと思います。					
今後の目標					
今後は、まずは来年度のA級審査が受けれるように、大阪の中で上位3名に入ります。そして、来年A級審査を受けて絶対に合格する。そして、フレッシュマンでS級審査を突破する。そのためには、自分が苦手であった、審判活動と向き合い、ルール理解を徹底する、そして、さまざまなところに自分から行きよりステップアップする環境を自分で探し出す。周りの人に甘えず、自分に厳しくして、頑張っていきたいと思います。					

2019年度 女性審判講習会レポート

所 属	大阪 府	連 盟	高体連	資 格	B 級
氏 名	太田 令菜				
参加日 ※Oしてください	9日(金)		10日(土)		11日(日)
講義・映像研修についての感想・要望					
3日間の講習で座学講習を5つ受けさせていただき、とても勉強になりました。「サマーキャンプ報告・女性分科会報告」「グループワーク」「3POメカニクス」「IoT」「公開プレゲームカンファレンス」とそれぞれ最先端の情報をいただけて、今知りたいことを凝縮していただけたような3日間でした。特に、サマーキャンプ報告は上級を目指す審判員にとってトップリーグの審判員からお話を聞けることは、自分が審判活動をするうえで、試合に臨むうえでモチベーションの高まる時間だったと思います。グループワークでは他ブロックの年齢やワッペンも異なる方々とコミュニケーションを取れ、互いに深める時間になりました。トップリーグの映像を見て、自分のゲームでも起こったことがある現象がありました。今一度映像解析についても見直し、勉強しなおしたいと思います。					
講習会全体についての感想・要望					
この講習会で今まで以上に他府県の審判員の方とお話させていただきました。各府県で取り組まれていることや、環境について、自身の仕事や家庭について、女性同士だからこそお互いに話ができたと感じます。交流をテーマに講習会が進んでいく中で、山口県をはじめ、中国ブロックの方々が雰囲気を作ってくださり、有意義な時間を過ごすことができました。また、講師陣に質問がとてもしやすかったです。初日は特にスクリーンを重ね、多くの回数をこなし、細かにご指導いただきました。実技講習でこのような時間は今までなかったもので、初めての方とプレカンなしで取り組むゲームは、コミュニケーションにおいても勉強になりました。					
自身の審判について自評・講評					
3日間を通してやはり大きな課題はクルーチーフメンタリティでした。コーチとのコミュニケーション、選手とのコミュニケーション、クルーとのコミュニケーション、どの場面においてもコミュニケーションの大切さを感じました。特に、POCの大切さをコーチとのコミュニケーションで実感しました。インテグリティについても、ためらいがまだまだあるのでオートマチックに宣せられるようにすることが大きな課題です。どんな言動で、振る舞いで取り上げられているか、それぞれのケースを知ることも必要かと思いました。それはこのようなたくさんのブロックから集まる講習会が絶好の機会だったので、次回はケースについて共有できたらいいなと考えます。					
今後の目標					
まずはA級昇格です。今足りていないところはクルーチーフメンタリティ。例えばクロック管理でも、自信のない瞬間があると訂正に至らない場面がありますが、確認し自信をもって宣する。ゲームコントロールにおいても、ベンチや選手へのコミュニケーション、正しい処置をクルーで対応できるように状況を把握し判定を積み重ねていきたいと思う。A級になったら、ブロックを出て様々な大会に派遣させていただきたい。そのような場で、たくさんの仲間と再会したいと思っています。 来年度には昇級し、このような講習会の場にまた参加させていただきたいと思います。 参加に関しまして、たくさんの準備とご配慮をありがとうございました。とても有意義な時間を過ごすことができました。 活かし、次のステップに繋げていきたいと思っています。					